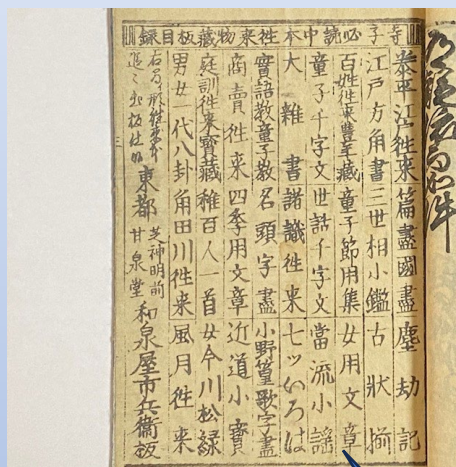


東洋大学大学院実習資料 寺子屋教育の方法と内容 —指導に活かす—

1/36



全32枚
1枚当たり30秒/15秒、
全体で15分スライド
ショー



夜久 竹夫 (元工学部講師、日大文理)

2025.1.27

ダイバーシティスクール川越

YGD-2025-001, ©2024 YakuGakkan, CC BY-SA

YGD-2023-008

甘泉堂板「百姓往来」
巻末広告ページより

引用資料

2/36



1. 和泉屋市兵衛、寺子必読書、百姓往来豊年蔵、最終ページ、18〇〇、甘泉堂
2. 石川謙、寺子屋：庶民教育機関 日本歴史新書、237p、1960、至文堂
3. 川本亨二、初等算数教科書としての「塵劫記」、教育学研究 35(1968), 105-114.
4. 石川松太郎、藩校と寺子屋、p238、1978、教育社
5. 丹和浩解説、寺子屋の学習と往来物、平成5(1993) 展示を編集、東京学芸大学教育コンテンツアーカイブ、1993

<https://d-archive.u-gakugei.ac.jp/exhibition/orai>

6. 石川松太郎・小泉吉永編、往来物解題辞典、2003、往来者倶楽部

http://www.bekkoame.ne.jp/ha/a_r/B40.htm

7. 東京都立図書館、「寺子屋」ってなに？、江戸東京デジタルミュージアム、2011

https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/portals/0/edo/tokyo_library/gakumon/page1-1.html

8. 高橋敏、寺子屋：驚くべき江戸時代の教育力、nippon.com、2021.3.16

<https://www.nippon.com/ja/japan-topics/g01005/>

9. 夜久学館所蔵書籍。一覧表, 2023

<http://www.yaku.org/shop/ichiranHyoKakakuType.html>

10. 夜久竹夫、寺子屋教育と現在、第168回応用オートマトン研究会資料。YGD-2023-005

趣旨
スクールでの情報交換実習：
スクールの活動に役立てるため
寺子屋教育の内容と方法を解説

要旨

- § 2 寺子屋の概要
- § 3 教育内容：カリキュラム・テキスト解説
- § 4 教育方法：法則優先方式、個別教育
- § 5 現代との比較
- § 6 寺子屋を指導に活かす

1.寺子屋年表[1,2,3]

4/36



寺子屋

社会一般

1500頃(室町時代) 寺子屋
始まる

646 **大化改新**、仏教儒教の定着
712 古事記成立、神話定着

1591頃 **近世**始まる。総定住、
総自営農(10000平米/戸)
・・・**地域文化振興の始まり**

1603 江戸時代始まる
1624-1644頃 商業出版一般化
←木版印刷普及



1750頃 寺子屋増加

←文書主義

1830-1844 著しく増加

1850以降 15,000以上[2]

1872 明治学制。仏教否定、
画一教育、崩し字隔離

1945 戦後教育。
宗教・道徳原理隔離、
画一教育徹底、新仮名遣い

1868 明治維新、近代

国教: 神仏混淆→神道
地租改正

→土地売買自由化...

→地域文化衰退始まる

1945 戦後体制、現代

均分相続制・

定住妨害法制←米国

→地域文化衰退の進行

2000代 定住衰退←均分

相続制・コスパ優先...

→地域文化消滅の危機

2. 寺子屋概観

2.1 寺子屋の仕様

6/36



目的	読み書き算盤 + 神儒仏 + 作法
運営主体	寺院、共同体(村立)、教師(私塾)
対象	5,6歳位～15,16歳位
学校数	1850以降(幕末) 15000以上[5]、 年間300開業・江戸だけで1000～1300[Wiki]

寺子屋の仕様(続き)

全国組織	不明, 但し教科課程と教科書はほぼ 全国共通
教師	僧侶、神官、武士、一般（男女）
教師養成	当初は足利学校等、湯島聖堂、私塾等
授業形態	複式授業



足利学校



湯島聖堂



石田梅岩邸

2.2 寺子屋の効果

8/36



●効果

民度：識字率:江戸1850、70～86%(欧米20%前後)

社会：順平等社会(大半が1町歩の納税自営法)、低犯罪率、法治

学問・技術：継続的發展

經濟成長↓ 単位 10億ドル

	日本	英国	蘭	米	中
1700	154	107	40	5	日本より大
1820 マディソン ン統計	218	348	43	124	1.992
1915	412	284		1.794	1.098
2,000 IMF 報告	4,888	1.651	414	10.285	1.215
2020 同上	5.049	2.711	910	20.333	14.723

2.3 周辺の寺子屋遺跡

9/36



- 市内と周辺
- 筆子(生徒)参加の筆子塚(生徒が師匠を顕彰)
- 市有形文化財
- 寺院境内
- 筆子塚

画像

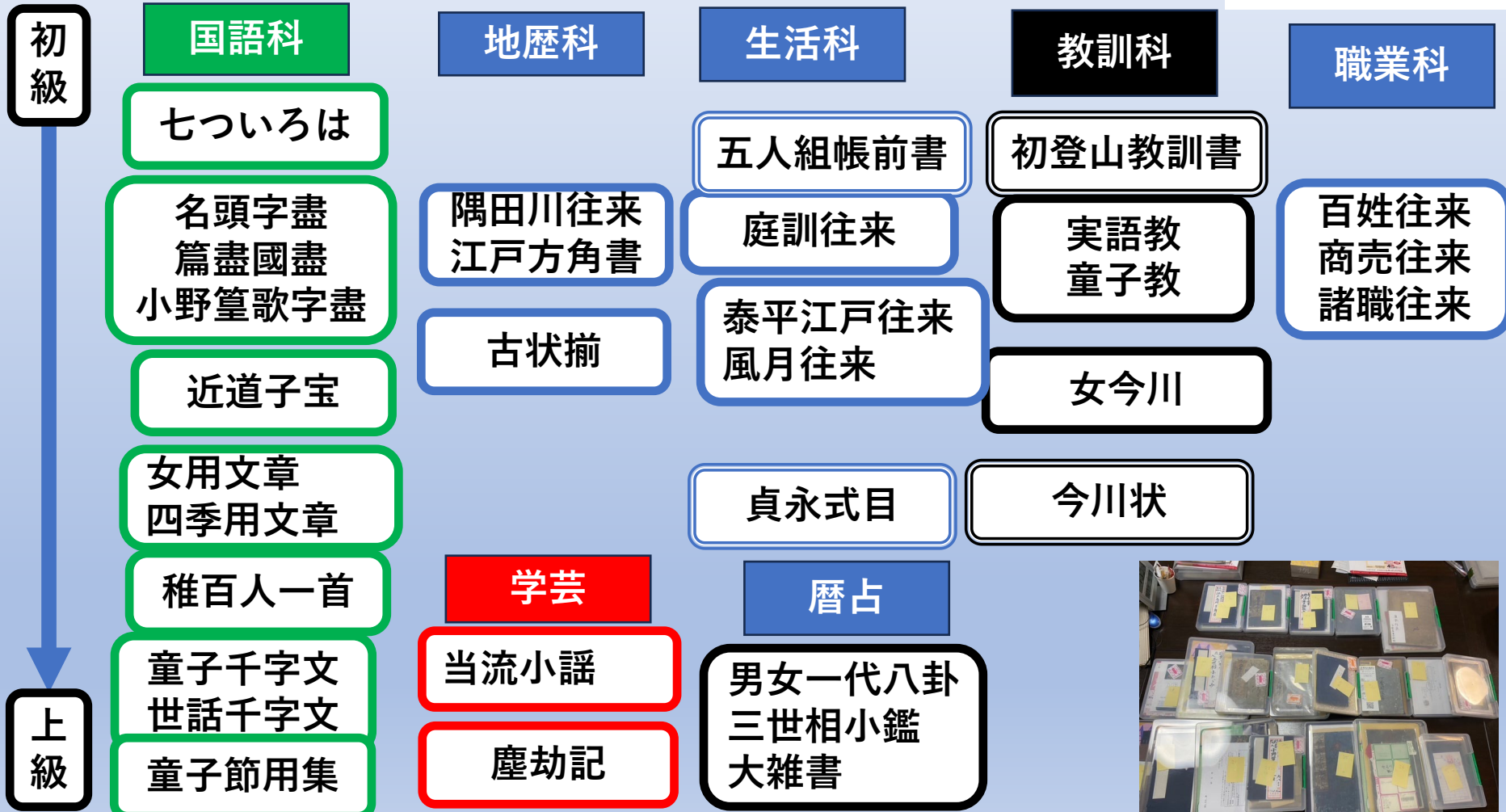
3. 教育内容：教科書

10/36



- 全部で**27種**前後 (↓)
- **20頁/冊, 300字/頁**程度、
- **1冊600字程度**が多い

3. 1 教科課程概観[4]



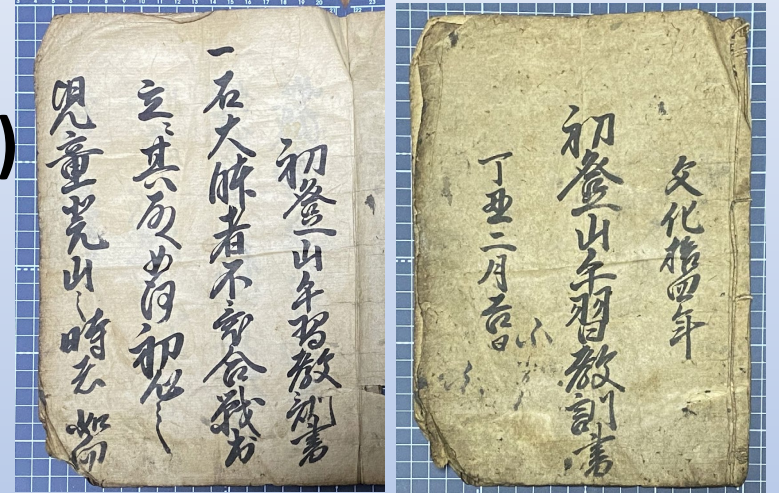


3.2 入学前の読本

☆初登山教訓書

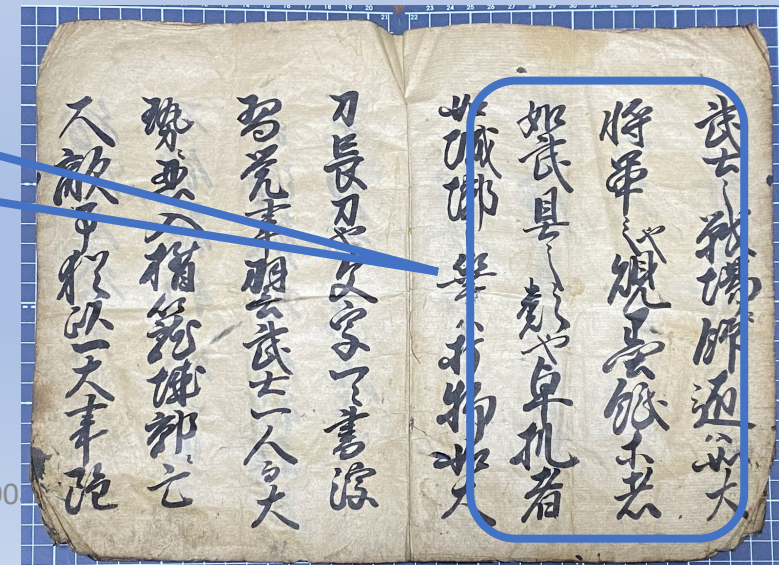
梶原平三・曾我太郎(伝) (1625)

45字 x 15p約700字の教訓



師匠は大將軍の如し、
硯墨紙等は武具の類也・・・

から始まる教訓



3.3 語彙科(国語科)



单字

○ 七ついろは

47字x同音单漢字7種計約500字

○ 名頭字尽く

文政11年版は111文字x五体
漢单字集(名字)



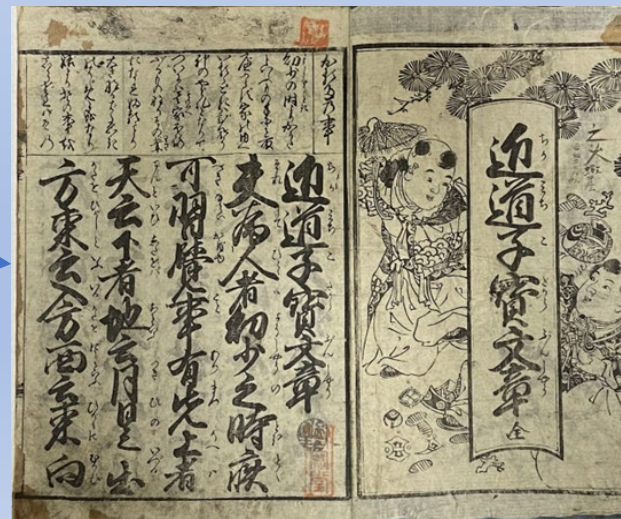
熟字

○ 篇尽く国尽く

熟語集(国名漢字)

○ 近道子宝

衣食住方角等の基本語彙と
心得、学習法



文章

3.3 語彙科(国語科)



○古状揃

文学入門書。腰越状他

○女用文章

かな文例

○四季用文章

手紙の書き方

○童子千字文、周興嗣(500頃)

漢字版いろは歌1000字

○童子節用集

子供用のいろは引き辞書



3.4 教訓科・宗教科

14/36



仏教五戒
不殺生戒
不偷盜戒
不邪淫戒
不妄語戒
不飲酒戒

○童子教、僧安然(伝) (1377以前)

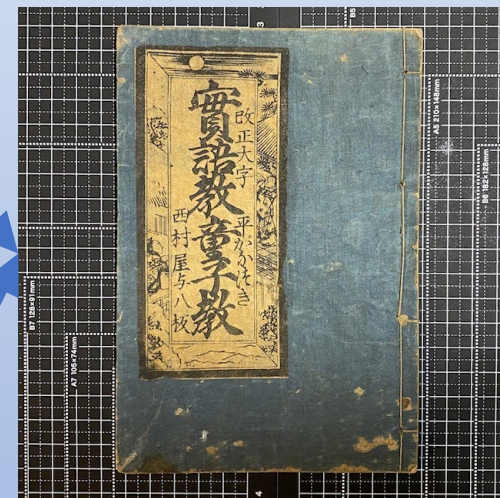
1560字の教訓漢詩集

(寺)には三礼、
(神社)には再拝、
人には一礼等

○実語教、弘法大師(説) (平安期)

480字の教訓漢詩集

人肥えたる(裕福)がゆえに尊からず
全体に財より智他

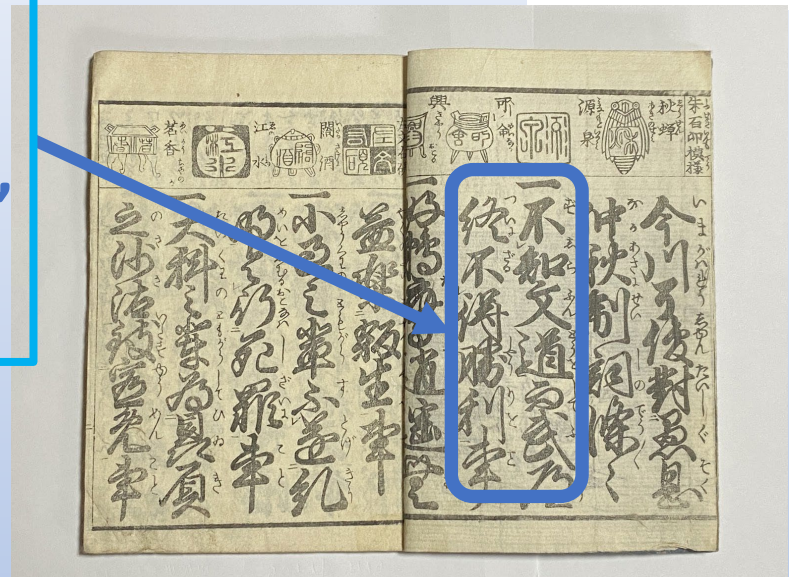




☆今川状、今川了俊 (1400頃成立)

家訓例：今川家家訓22ヶ条・

- 1. 不知文道武道終に不得勝利事,
- ・ 学問武芸を怠ると負→怠るな！



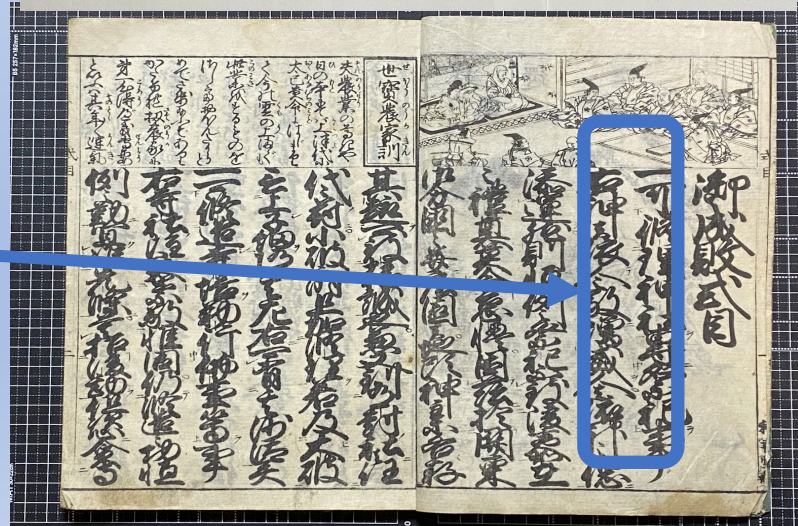
☆貞永式目(御成敗式目)

北条泰時 (貞永元年(1232))

当時の基本法(17条憲法の補則)。

習字の手本。51ヶ条全文。

- 1,2条 神社仏閣の手入れすべし
- 3条 ...守護は庶民に非法を働いたらクビ



3.5 社会科[1]

16/36



五人組帳前書、江戸幕府 (1700年前後)
農家向け法令集、
50条前後、
罪人通報、農地改変申告、
農地売買禁止
続く本文は住民協定見本



庭訓往来、玄恵著(説) (室町前期頃成立)
生活用語・知識集
月別に合計25通の書状例
衣食住、職業、産物等



社会科の背景

17/36



地域別行事興隆

泰平江戸往来(自遣往来)

百姓往来



背景：（全戸定住・全戸自営・継続保証の政策）

① ← 全戸定住(代々居住) ← 家督相続制

封建税制(一定率納税すればあとは自由)(=現在,

≠中世は定額所得で残りは全部税) ← 政策

4公6民 (cf. 現在はほぼ5公5民)

全戸納税出来た(させた) = “余裕”があった

マルクス、資本論、1867、
“日本では自営農主体、
．．．”

18/36

② ← 全戸自営 ← **全戸土地所有**

1戸当たり農地10町歩 ≈ 10,000平米(分配)

1村(約100戸)に1寺、

1戸三代5人として1村約500人

全国約6万ヵ村、合計人口約3000万人

③ ← **定住保証** ← 土地売買禁止法

3.6 職業科

19/36

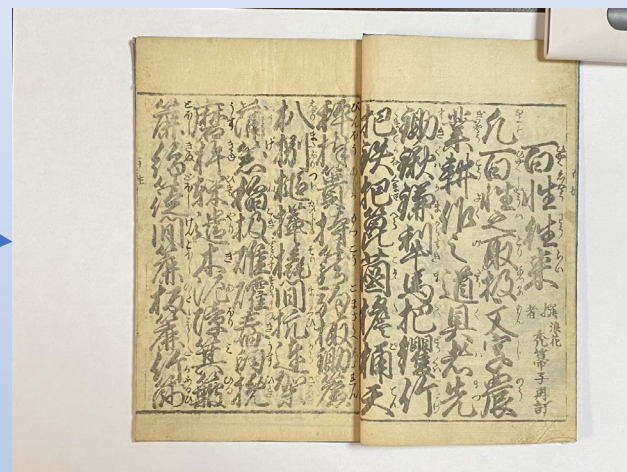


○百姓往来、禿箒子 (1766)

農家マニュアル

農業用語と技術、職業倫理

(×脱税はダメ！)

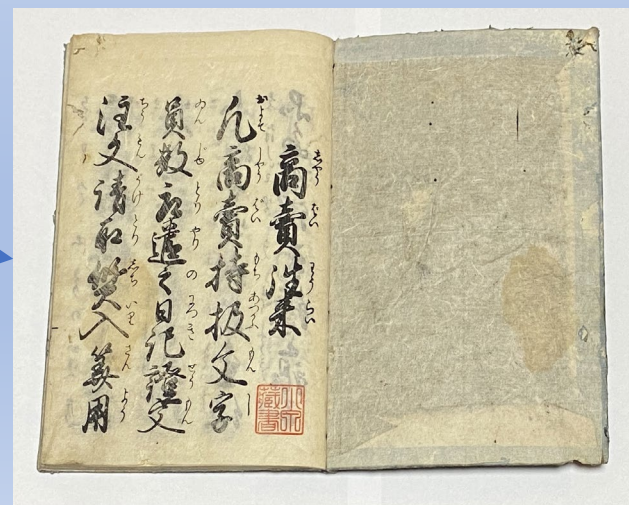


○商売往来、堀流水軒 (1694)

商業マニュアル

商業用語と技術、職業倫理

(×偽物はダメ！)

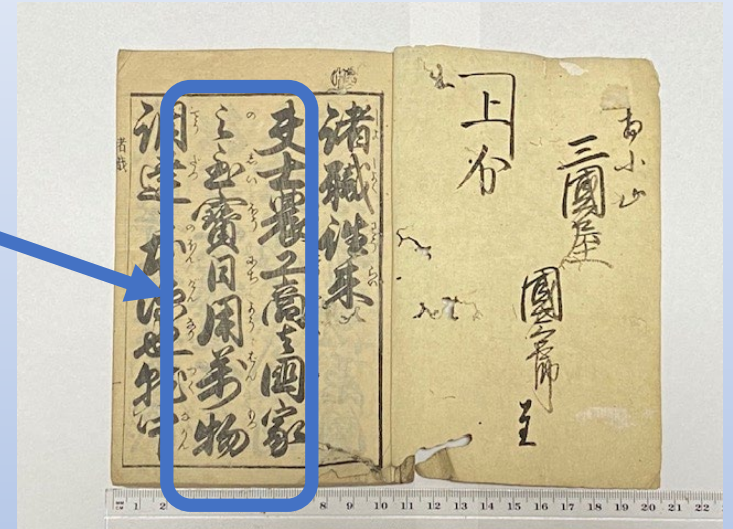




○諸職往来、

山田東作(賞月堂) (江戸後期)

「士農工商は国家の至宝」

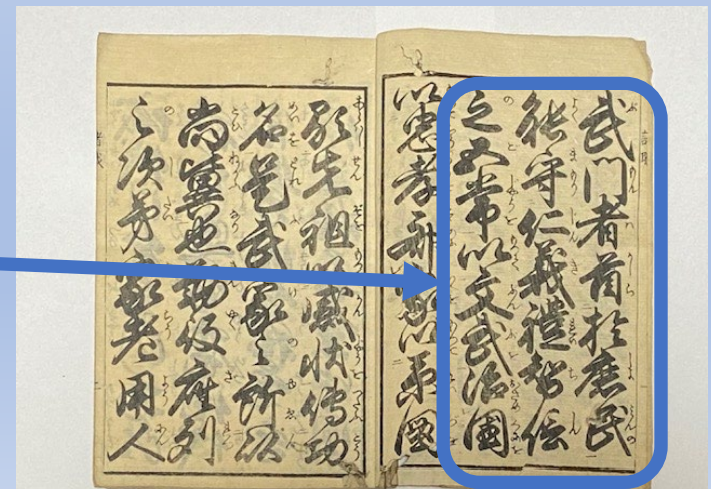


「(武)士は五常 (仁義礼智信)
が仕事！」

・ ・ 士業(公務員)は(禄(税金)
を喰むのだから)ちゃんとしろ！

にはじまり農業工業商業と続く
士農工商別の職業倫理

YGD-2023-008



3.7 理数・芸術・暦占



○塵劫記、吉田光由 (1627)

算数

←入れこ算、ネズミ算

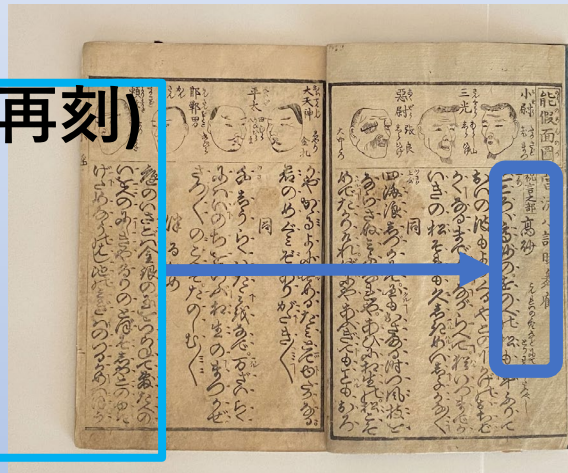
21/36

○当流小謡 (安政4 再刻)

歌詞集

「高砂・・・」

から始まる



○男女一代八卦、1786以前、

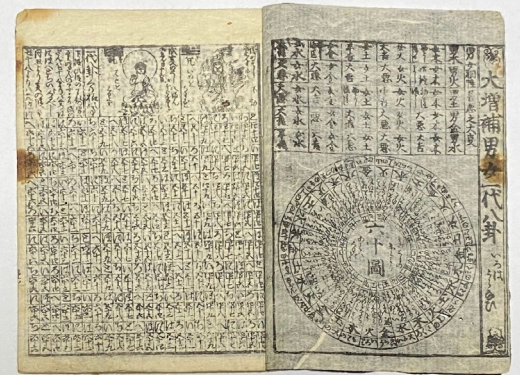
八卦占い

○三世相小鑑、江戸中期、

仏教因縁説占い

○大雑書

陰陽道占い



3.9 卒業後：一般書

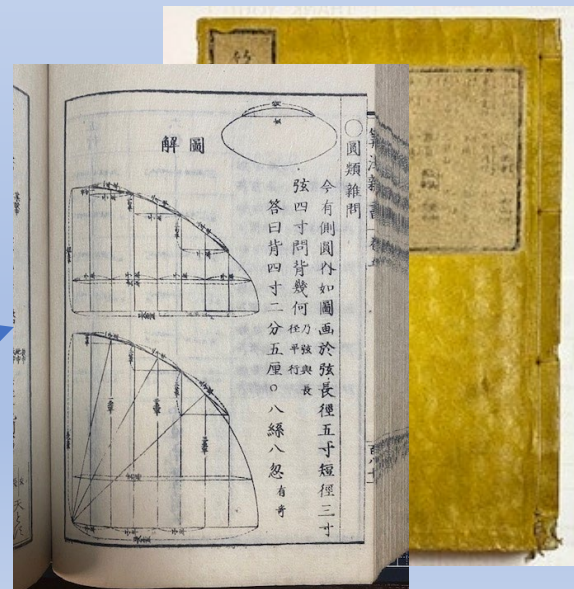
22/36



主な千部振舞(ベストセラー)書物
武鑑(毎年発行)人名録(役職、家紋)
袖玉武鑑186ページ、携帯版
養生訓(貝原益軒, 1712)、
江戸流行料理通(八百善, 1822)



東海道中膝栗毛(十返舎一九)、
北斎漫画(北斎, 1814-)、
江戸名所図会(齋藤長秋他, 1834)、
他に**算数新書**(級数迄)



4. 教育方法

23/36



寺子屋運営書（教師用）

○寺子新式目、笹山梅安 (1695)

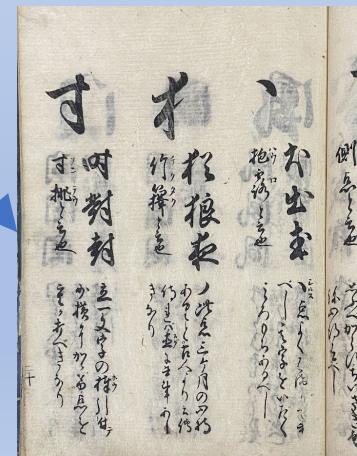
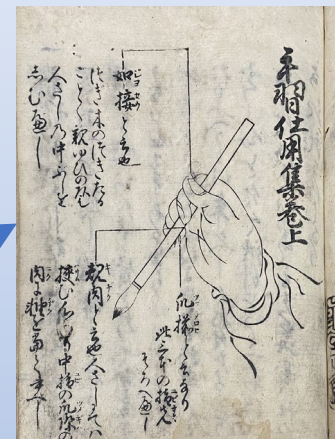
寺子屋の規則

○手習い仕用集、笹山梅安 (1693)

教える技術

○授業編、山村蘇門(序) (1783)

幼児～老人の授業内容



4.1 形態：個別最適化 複式授業



個別指導：個別最適化・才能重視(ゼミと同じ)

24/36

↔ 画一教育(近代以降)：個性は例外扱い

・・・寺子屋方式



4.2 順序：体得優先

先ず体で覚えさせる←習字優先
理屈は後回し

現代の体育(実技優先)、理系(書写優先、計算優先)

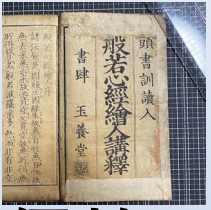
・・・→AIの記号接地問題・身体知

4.3 知識構造：体系的

原理：取り扱わない
教師の知識



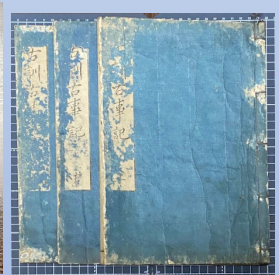
宗教：仏教 五時八教他經典



道德：儒教 四書五經他



文化：国学。記紀万葉等神典



童子教

実語教

庭訓往来

法則：覚えさせる
疑わせない
あとで考える

書写→理解の順。身に付けた後で意味を考える
深遠な原理には触れず分かり易い法則だけ教える
現在の理科教育と同じ構図

5. 現代との比較 教育方法の比較

26/36



項目	寺子屋の教育方法	現在の学校の教育方法(日本)
授業形態	複式学級 個別指導 = 個別最適化	教室は学年制 ゼミで個別指導：個性才能伸びる
授業順序	体得優先 形から教える 現在の理系方式：例えば数学科では定理を身に付けさせる。依拠する数学原理は疑わせない。	理系と体育は形から教える 身体知、記号接地問題・AI 道徳・倫理は納得優先、生徒に考えさせる(原典不提示)
社会性の涵養	原理原則準拠。原典に沿った決まりを教える。多分原典明示	集団順応、原理原典不提示 いじめには逃げる

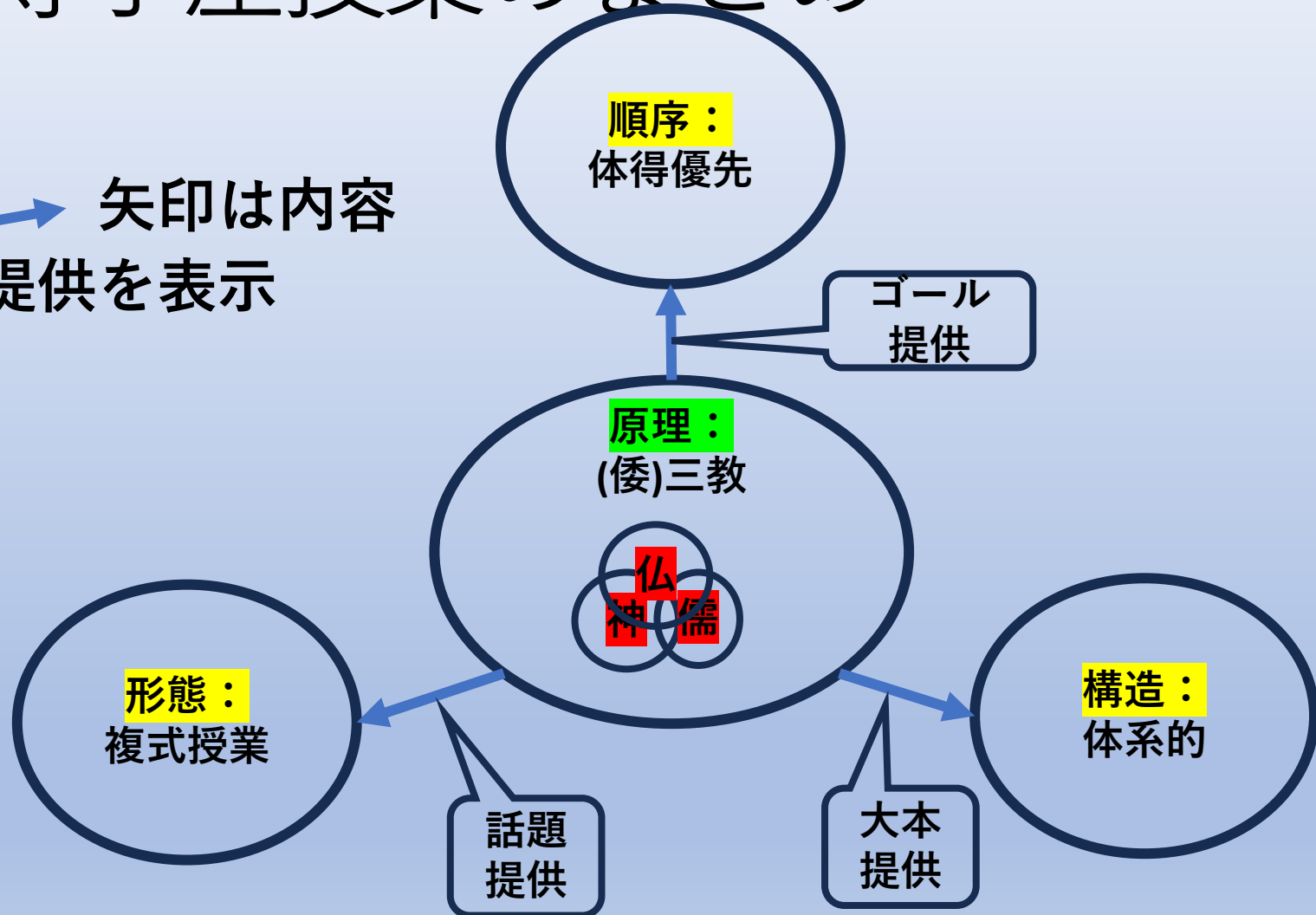
教育内容の比較

27/36

	寺子屋	現在
授業構造	体系的 原理原典が明確 文化(国学)：記紀万葉 他(約44万字) 道徳(儒教)：四書五經 (約48万字) 宗教(仏教)：五時八教 (〇万字) 算数：算数新書等	理系は体系的、原理原典明確 ： 例) 理科→物理学辞典・化学辞典 数学→数学辞典 学問が基盤 道徳科、倫理科、情報科は羅列的 原理原典曖昧 基盤無し(生徒に考えさせる)
授業内容	文化道徳宗教三教が中心 <ul style="list-style-type: none">・安全意識は低い・人権意識は低い・男女は区別・世界史は中国だけ	日本：安全と財産？ 中心無し 仏：国是 第五共和制市民の育成、原理明確 米：国是 忠誠の誓い (唯一神教正義の普及)←原典は聖書

寺子屋授業のまとめ

→ 矢印は内容
提供を表示



認識の比較：誤解

3036

項目	現在の認識(多分誤解)	寺子屋時代の実情
崩し字	学習難易度高い	学習容易(全員履修)
教科書	楷書版が無いと現代人読解不可。	崩し字(かな100字)覚えれば読解可能
教訓/道徳教育の認識	古い、前時代的	原理原典が明確 →身体で覚えさせて体得可能 体系的：現在の理系的
士農工商の認識	日本の制度、身分制度 交替不可能	中国の用語、家業 仕官で交替可能
近世の税の認識	ほぼ小作 重税(現在の5公5民より重い)	ほぼ総自営農 4公6民 寺子屋を維持する余裕あり

6. 寺子屋で作法のリ・スキリング

注意

- ・文化(伝統的行事)を身に付けさせた→共通作法
- ・道徳を身に付けさせた→「五常・仁義礼智信」善悪夫々の程度
- ・宗教を身に付けさせた→「五戒」生き方「人生は修行、七生」

→ . . . → 「作法・道徳」の格差が広がらない・安全な社会

リ・スキリング

学校で教わらなかった、「法則優先方式と読み書き算盤以外」の文化・道徳・宗教をリ・スキリング

文化(作法)：今川状・庭訓往来（原典：記紀神典）

道徳(五常)：実語教（原典：四書五経）

宗教(五戒)：童子教（原典：五時八教）

例. 再教育(形から覚えさせる
= 理系方式の徹底)

童子教、実語教、世話千字文 (格言)

仏三礼・神再拝・人一礼

財より智

自他幸甚・商売繁盛 他

庭訓往来 (季節行事)

正月行事 他

寺子新式目 (教室ルール)

言う事を聞かない生徒は親に返す

注意 1. 教育原理の違い

寺子屋←三教(神儒仏)に依拠(調べれば理由が分かる)

現代の学校教育

原理←ギリシャ哲学、キリスト教に依拠(始まり)

(良く調べないと分からない、社会原理と矛盾)

漢文←儒教

国語←神道

行事←仏教

注意 2

寺子屋教育のまとめ書

- **寺子調法記**、下河辺拾水、天保3(1832)、
伏見屋半三郎他板、実語教・童子教、今川状、
腰越状、商売往来の合本
- **女寺子調法記**、池田東籬亭編、天保13(1842)、山城屋他板
女実語教、女今川、**縫針**、**歌かるた**、**琴・三味線**、
七夕詩歌、**女詞づかひ**、**折形の図**、**十幹十二支**、
男女相性など

• 童子通、山本舊逸、天保15(1844)

日本人の常識一覽

十干十二支 甲乙丙丁・・・、子丑寅卯・・・

三才 天地人

四時 春夏秋冬

五行 水火木金土

五常 仁義礼智信

五倫 父子 君臣 夫婦 長幼 朋友

四民 士農工商

七情 喜怒哀樂愛惡欲

八卦

- **地理**

台湾、和蘭、契丹、
亞細亞、阿弗利加、欧羅巴、亞米利加、

- **十三經**

毛詩、尚書、周易、周礼、儀礼、礼記、
左伝、公羊伝、穀梁伝、孝經、論語、孟子、
璽雅、新注 論孟学庸、周易詩經

九經字数（四書五經か）

毛詩 39,124字

尚書 25,700

周礼 45,806

礼記 99,020

周易 24,207

春秋左伝 196,845

孝經 1,903

論語 12,700

孟子 34,685字

總計 484,095字

歴史

- 歴史書一覧

十七史 二十一史

本朝三部本書 旧事記、古事記、日本紀

本朝六国史 日本紀、続日本紀、日本後紀、続日本
後紀、徳実録、三代実録

- 本朝尊号歌

- 唐土歴代国号歌

- 年号の始

・ ・ ・ ・ ・ 童子通おわり

注意3. 大人の常識(若者教育)

- **女重宝記**、苗村丈伯、元禄5(1692)初出

1. 女中万たしなみの事(女は人間のはじまり、養生、言葉遣い、化粧他)、

2. 祝言の事、 3. 懐妊の事

4. 諸芸の事(文、歌書、琴、かるた、香 他)

5. 女節用集字尽(源氏物語、ご節句、小笠原流折形 他)

- **男重宝記**、草田寸木子(苗村丈伯)、元禄6(1693)初出

童男の知りて重宝、男子一代の総論：よみかき学文の芸を第一
和歌、連歌、俳諧、茶の湯、碁、将棋、立花(りっか)、
しつけ五十一箇条

- 解説書 長友千代治校注、"女重宝記・男重宝記 - 元禄若者心得集"、現代教養文庫1507、社会思想社、1981

7. おわりに まとめ

36/36



- § 2 寺子屋の概要→年表、仕様
- § 3 教育内容→カリキュラム・テキスト解説
- § 4 教育方法→法則優先方式、個別教育
- § 5 現代との比較→方法と内容を比較
- § 6 寺子屋を現在の教育に活かす
→リスキリング

END